磯津言葉の調査（第20回）

第20回は、前回に続き、気象・自然現象の言葉です。

1　テーマ　気象・自然現象３（太陽・雲、その他）

分類	名称	磯津言葉
太陽	太陽（一般）	オヒサン、オテントサン、ニチリンサン（少）
	夕方の太陽	ユーヒ、イリヒ
	夕焼け	ユーヤケ、アカネサス、ヒノイリガイー
	朝焼け	アサヤケ
	日差し	オテリ、テリ、オテリサン
雲	巻雲	—
	巻積雲	イワシグモ、ウロコグモ、サバグモ
	高積雲	ヒツジグモ
	高層雲	—
	乱層雲	雨：アマグモ、　雪：ユキグモ
	積乱雲	タチグモ、ニュードウグモ、ハヤテグモ、 カミナリグモ、ユーウダチグモ
	東行きの雲	クダリ
	西行きの雲	ノボリ
	〃	ドヨーグモ　（黒い雲）
	夕方、夕焼け	ユーヤケグモ、アカネグモ
	海の上の雲	オキグモ
	地震雲	ジシングモ（西の山の上に出る、黒く長い雲）
	山の雲	チョーチョーグモ（白い玉状の雲）
	その他	ワタグモ、ムラグモ
氷、霜	氷　一般	カナンボ
	柱　複数	ツヅラ
	池等に張った氷	コーリ
	田の氷	コーリノハナ
	霜柱	浜の砂：シモノハナ　土：シモバシラ、コリバシラ
	霜柱や霜の早融け	シモガレ
海の状態	穏やか	シラタヒク（海面が穏やかで光っている状態）。 タライナギ（非常に穏やかな状態）
	大荒れ	シケ、オーシケ
	潮汐	小潮：コーショ、　大潮：オーショ

採録した風に関する諺例

「春霞、チョーチョー雲、馬の尻吹き破る」

「西から東に流れる雲が途切れ、山にへばりつくと、明けに風が吹く」

「どうあいに雲が上がると日和が悪くなる」　どうあい：伊勢湾口（神島方面）

磯津ことばを記録する会（連絡先）

桜井好基（e-mail uoza_suzukagawa@yahoo.co.jp　TEL　090－4233－5695）

○表内の誤りを含め、関係する古い言葉・伝承（ことわざ）等があれば会までお知らせください。